

オンライン検査マニュアル

はじめに

このマニュアルは、オンラインによる消防検査及び現地確認（以下「オンライン検査」という。）を円滑に進めるための手順と注意事項をまとめたものです。オンライン検査により、職員の移動時間がなくなるため、検査予約が比較的取りやすくなるとともに、検査内容について、本マニュアルにより共通認識で実施できるため、検査時間の短縮に繋がります。

1 オンライン検査とは

オンライン検査とは、インターネットに接続されたスマートフォンやタブレット等の携帯型電子機器を利用し、消防職員が現地に出向くことなく行う検査です。

2 検査対象

項目	対象とする範囲
消火器の設置	増設、移設及び取替え
誘導灯・誘導標式の設置	増設、移設及び取替え ※「消灯方式」、「点滅型（内照点滅型を含む）」、「誘導音装置付点滅型」に関わる検査、誘導灯の非常電源が内蔵型蓄電池以外の場合を除く
自動火災報知設備の設置	感知器の増設、移設及び取替え
パッケージ型消火設備の設置	増設、移設及び取替え
特定小規模施設用自動火災報知設備の設置	感知器の増設、移設及び取替え
防火対象物使用開始（変更）	使用開始（変更）する面積の合計が 300 m ² 未満に限る
火災予防条例第 44 条 火を使用する設備等の設置	設置、変更、廃止及び設置が必要な消火器

3 申請者の準備

- (1) インターネットに接続可能なスマートフォン、タブレット等の携帯型電子機器
- (2) ZOOM アプリ（推奨）※必須ではありませんが、スムーズな検査のために推奨します。
- (3) 必要に応じて、三脚、自撮り棒、スケール、レーザー距離計、照明等

4 オンライン検査の流れ

(1) オンライン検査の申請

電子申請システムでオンライン検査を希望する旨を入力してください。

(2) 事前調整

消防職員から連絡があり、検査日時及びオンライン検査内容の調整（電話またはメール等）を行います。

(3) ZOOM 接続

検査日時になれば、電子申請に登録されたメールアドレス宛に送付された ZOOM の招待 URL 等から入室してください。

(4) 接続確認

音声と映像の送受信が問題なく行えるかを確認します。

(5) オンライン検査開始

消防職員の指示に従い、撮影等を行います。

5 撮影機器について

インターネットに接続された携帯型電子機器であれば、どのようなものでも構いません。（例：スマートフォン、タブレット等）また、複数台使用することで、よりスムーズに検査を進めることができます。

6 個人情報及び機密情報漏えい防止について

(1) 情報漏えいの防止を徹底（フリーWi-Fi の使用は避ける、撮影許可が出ていない場所は撮影しない等）してください。

(2) 必要により防火対象物の関係者にオンライン検査を行うことについて了承を得てください。

7 注意事項

通信障害や映像・音声の不備等により検査の実施が困難な場合、または検査内容に重大な不備（例：消防用設備の未設置、作動不良、図面との相違等）が発見された場合は、従来の 立会いによる消防検査及び現地確認に切り替える場合があります。

オンライン検査撮影要領

本要領は、オンラインによる検査時の撮影に関する撮影対象、撮影方法など、検査の質を確保するために必要な事項を定めたものです。

目次

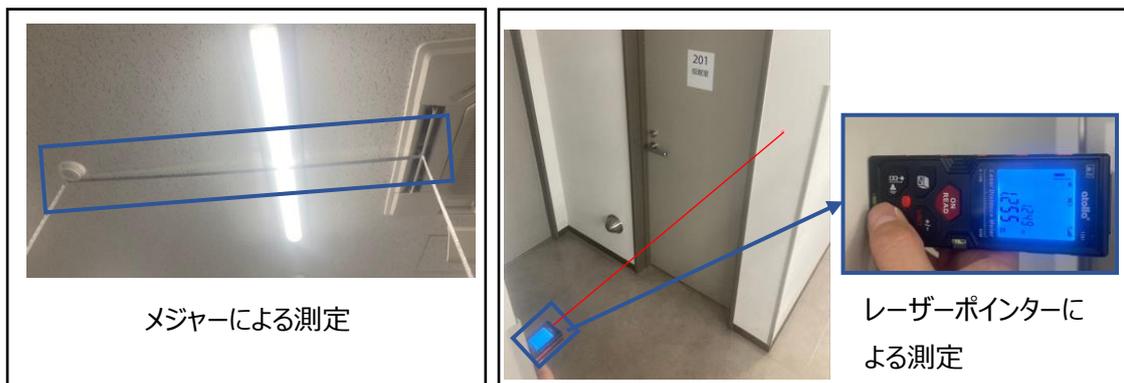
共通	4
消火器の設置（増設、移設及び取替え）	5
誘導灯 増設、移設及び取替え	6
自動火災報知設備 感知器の増設、移設及び取替え	7
特定小規模施設用自動火災報知設備の設置（感知器の増設、移設及び取替え）	9
パッケージ型消火設備 増設、移設及び取替え.....	10
防火対象物使用開始（変更）（使用開始（変更）する面積の合計が 300 m ² 未満に限る） ..	11
火災予防条例（火を使用する設備） 設置、変更、廃止及び設置が必要な消火器	12

共通

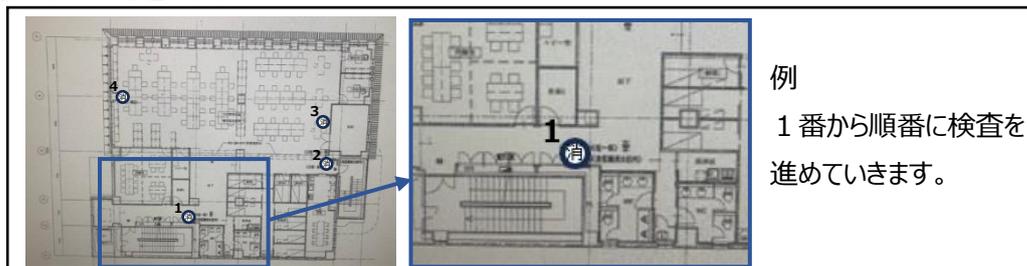
- 1 撮影開始場所は、検査建物の確認（住居表示等）の後、エントランスや階段室等、どの撮影場所がわかりやすい場所から開始をしてください。



- 2 消防職員から、歩行距離や消防用設備等の設置場所の測定の指示がある場合がありますので、すぐに測定ができる準備をお願いします。



- 3 工事に関わる消火器や感知器、誘導灯等には、あらかじめ各階ごとに番号等を付しておく、検査がスムーズに進みます。



消火器の設置（増設、移設及び取替え）

1 消火器の設置状況確認

使用上、有効な場所で避難上支障がないか

床面からの高さが 1.5m以下となるように設置しているか など



2 消火器の型式番号等、標識の確認

届出された仕様書と同一か

標識は適正な位置に設置しているか など

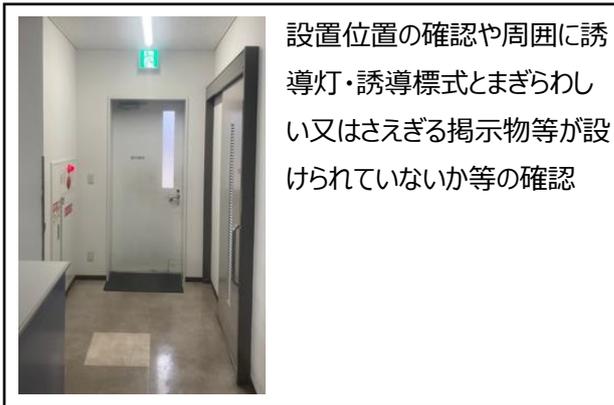


誘導灯 増設、移設及び取替え

※誘導灯は、「消灯方式」、「点滅型（内照点滅型を含む）」、「誘導音装置付点滅型」に関わる検査、誘導灯の非常電源が、内蔵型蓄電池以外に関わる検査を除く

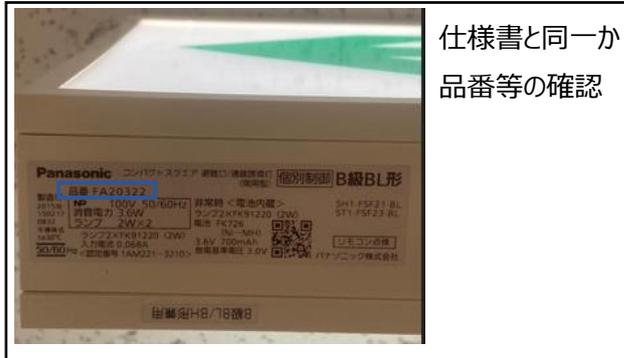
1 設置状況（誘導灯・誘導標式共通）

設置位置は適切か（必要により図面通りの寸法で設置しているかの確認を行います。）
周囲に誘導灯・誘導標式とまぎらわしい又はさえぎる掲示物等が設けられていないか など



2 型式等の確認（誘導灯・誘導標式共通）

届出された仕様書と同一か など



3 電源について（誘導灯のみ）

常時、点灯しているか

非常電源への切替えが自動的に行われているか など

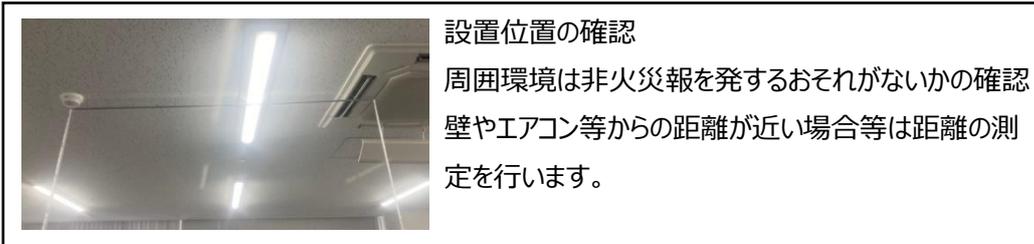


自動火災報知設備 感知器の増設、移設及び取替え

1 感知器の設置状況

設置位置は適切か（必要により、壁・梁・エアコン等からの距離の確認を行います。）

設置場所に適した感知器が火災を有効に感知することができ、かつ、非火災報を発するおそれがないように設置しているか など



2 感知器の型式等の確認

届出された仕様書と同一か など



3 感知器作動検査

正常に作動しているか

受信機の火災表示確認 など



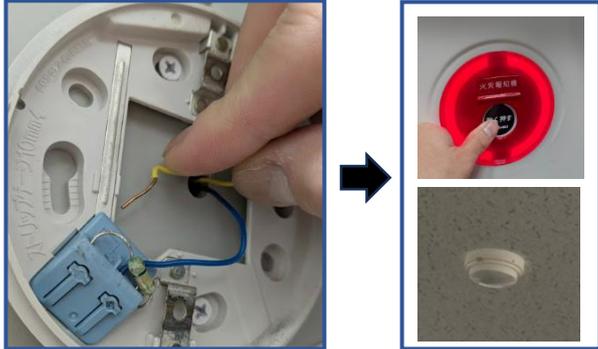
4 配線検査

共通線を共用している警戒区域が適正かどうか（警戒区域が変更する場合等に限る）



工事により警戒区域が変更となる場合は共通線を共用している警戒区域を確認
受信機内部の該当する共通線ははずし、受信機の回路導通試験を行い、「断」を
指示した警戒区域の回路数を確認します。

感知器回路が送り配線となっているかどうか



感知器回路が送り配線となっているかどうかを確認
感知器を回路の電線から切り離し、当該回路の末端の発信機、押しボタン、末端
側の指定する感知器等を作動させて確認します。
検査終了後、元の状態に戻した後に作動試験を行い、正常に作動することを確認
します。

特定小規模施設用自動火災報知設備の設置（感知器の増設、移設及び取替え）

1 感知器の設置状況

設置位置は適切か（必要により、壁・梁・エアコン等からの距離の確認を行います。）

設置場所に適した感知器が火災を有効に感知することができ、かつ、非火災報を発するおそれがないように設置しているか など



設置位置の確認

周囲環境は非火災報を発するおそれがないかの確認
壁やエアコン等からの距離が近い場合等は距離の測定を行います。

2 感知器の型式等の確認

届出された仕様書と同一か など

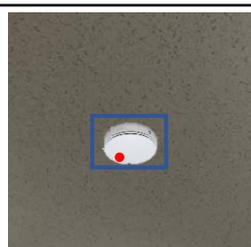
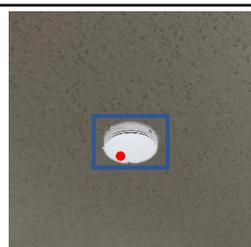
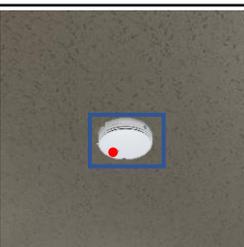


仕様書と同一か型式番号等の確認

3 感知器作動検査

正常に作動しているか

全ての感知器が連動して発報しているか など



作動検査時は、他の感知器が連動しているかの確認を行いますので
2台同時に撮影していただくとスムーズに検査を進めることができます。
その際、音声のオン・オフをお願いする場合があります。

パッケージ型消火設備 増設、移設及び取替え

1 設置状況

設置位置は適切か（必要により計測による確認を行います。）

機器の機能に影響を受けるおそれのない場所に設置されているか

周囲に障害物がなく、円滑な操作及び点検が行える場所に設けられているか

地震等により倒れないよう堅固に固定されているか

標識が設けられているか など



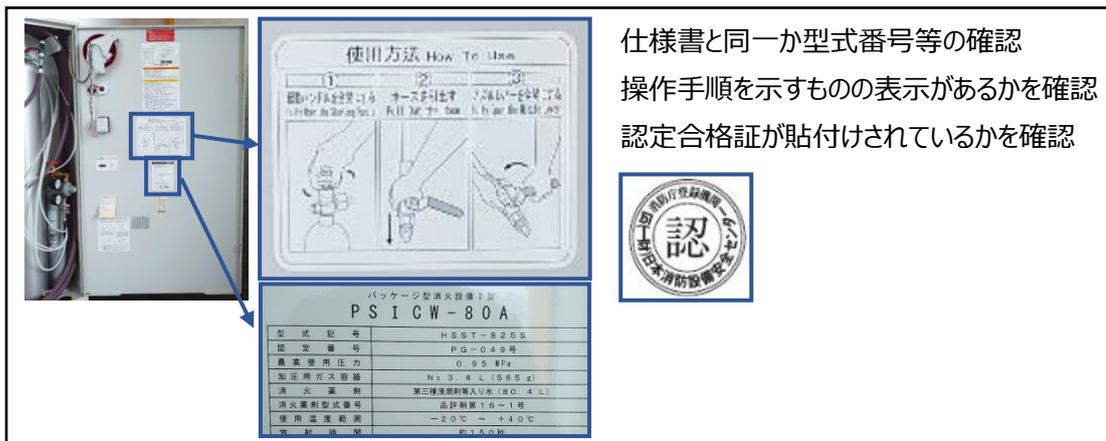
2 型式等の確認

届出された仕様書と同一か

格納箱の裏面には、操作手順を示す簡略な絵が表示されているか

登録認定機関の認定合格証が貼付されているか など

※ 認定合格証が貼付けされているものは性能試験を省略します。

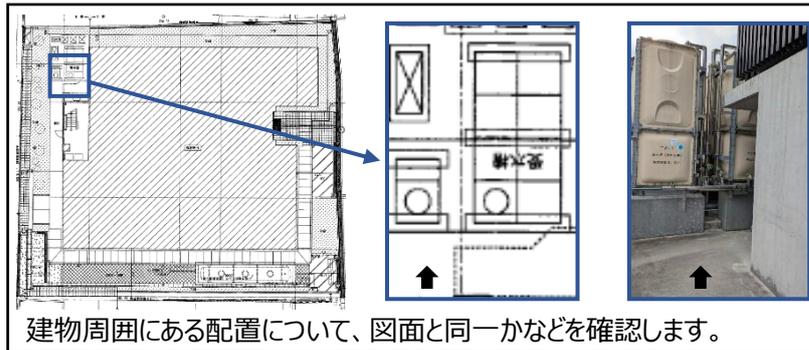


防火対象物使用開始（変更）（使用開始（変更）する面積の合計が 300 m²未満に限る）

※ 消防用設備等の検査や火を使用する設備等の設置（火災予防条例）の確認と併せてオンライン検査をする場合は、「オンライン検査実施マニュアル 2 検査対象」の範囲内であれば可能です。

1 敷地内配置について

届出された敷地内配置図による確認 など

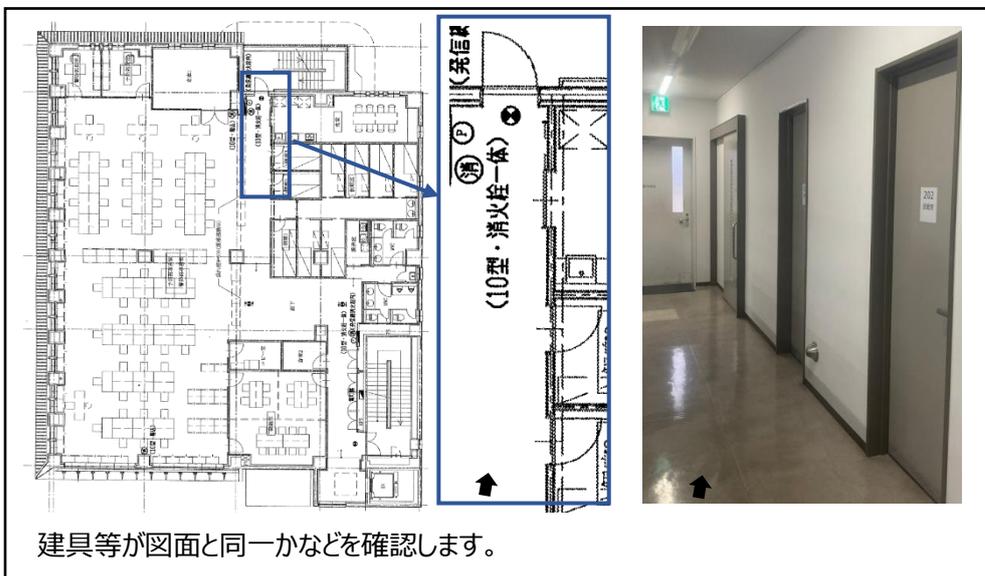


2 各階の間取り、建具等について

届出された各階平面図による確認

間取りについては図面通りか（必要によりの寸法の確認を行います。）

建具等は図面通りか など



火災予防条例（火を使用する設備） 設置、変更、廃止及び設置が必要な消火器

消防用設備等

1 設置状況

設置位置について

建築物等及び可燃性の物品からの離隔距離について

その他火を使用する設備等に関して火災予防条例上で必要とされている事項



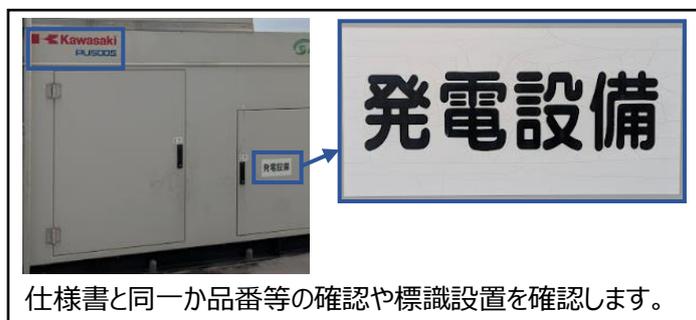
The image contains a technical diagram on the left showing the layout of fire equipment with labels like '(設備群・面0S)' and '(設備群・面0D)'. To the right is a photograph of a large grey metal cabinet on a concrete base. A person is using a measuring tape to check the distance between the cabinet and another structure. A blue vertical text box on the right side of the photo reads: '火災予防上安全な距離が必要な建築物など'.

設置位置が図面と同一かなどを確認します。

必要により、火災予防上安全な距離が保たれているか距離の測定を行います。

2 型式等、標識の確認

届出された仕様書と同一か など



The image shows a grey metal cabinet with a blue label that says '発電設備' (Generator Equipment). A blue arrow points from the label to a larger, magnified version of the label. Below the image is the text: '仕様書と同一か品番等の確認や標識設置を確認します。'

仕様書と同一か品番等の確認や標識設置を確認します。

3 消火器及び消火器の標識の確認（設置が必要な場合に限る。）



The image shows a red fire extinguisher in a red cabinet. A blue arrow points from the extinguisher to a magnified view of its label. The label contains the following information: '業務用消火器' (Business Use Fire Extinguisher), '型式番号 消滅23-114号', '最大圧力(充填圧力) 2.80 MPa', '充てん容量 3.0 kg', and '総重量 4.95 kg'. Below the image is the text: '消火器が仕様書と同一か型式番号等の確認や消火器の標識の確認をします。'

消火器が仕様書と同一か型式番号等の確認や消火器の標識の確認をします。